

- パラナ州治安情報(国会調査委員会によるパラナ州における女性への暴力対策会議の開催)
- パラナ州治安情報(パラナ州軍警察国境警備大隊の新規配備に伴う軍警察官第一陣50名の派遣)
- 感染症関連情報(パラナ州及びサンタ・カタリーナ州におけるA型インフルエンザ(H1N1)感染状況)

.....

- パラナ州治安情報(国会調査委員会によるパラナ州における女性への暴力対策会議の開催)

6月26日付当地ガゼッタ・ド・ポヴォ紙は、6月24日及び25日の両日、女性への暴力撲滅を目的とした国会調査委員会による会合がパラナ州議会内で開催され、パラナ州における女性への暴力の実態が報告されたところ、概要を以下のとおりお知らせします。

1 サンガリ研究所(Instituto Sangari)の2010年伯国州別女性殺害率統計発表を受け、国会調査委員会は、同統計ワースト10位以内の州及び人口の多い4州の計14州において会合を行うことを決定した。今回のパラナ州での開催は8箇所目である。同研究所によると、2010年パラナ州女性殺人率は10万人当たり6.3人で、全伯ワースト第3位である(全国平均女性殺人率は10万人当たり4.4人)。全国都市別殺人率では、クリチバ大都市圏に所在するピラクアラ市(クリチバ市より2km)は全国第2位(10万人当たり24人)。

2 女性運動の調査発表によると、昨年、クリチバ市において、強姦事件が2,222件発生したが、判決が確定したのは10件のみであり、しかも有罪判決は2件のみである。

3 パラナ州高等裁判所の統計データによると、昨年までのパラナ州における女性への暴力に係わる訴訟7,000件(家庭内暴力4,200件を含む)についても未だ判決が確定していない。

4 国会調査委員会は、パラナ州政府による女性への暴力撲滅に対する投資が不足しているとして、パラナ州検察庁、同州公安局及び同州高等裁判所に対し今後の方針について回答を要求した。これに対し、パラナ州公安局長は、既なる女性警察署の増設及び警察官の増員を約束した。

- パラナ州治安情報(パラナ州軍警察国境警備大隊の新規配備に伴う軍警察官第一陣50名の派遣)

7月9日付当地TVグローボ系ニュースサイトG1は、パラナ州国境付近における麻薬及び銃器の密売撲滅のため、パラグアイとの国境近くに所在するマレシャル・カンジド・ホンドン市へのパラナ州軍警察国境警備大隊の新規配備(軍警察官50名の派遣)について報じているところ、概要を以下のとおりお知らせします。

1 7月9日、マレシャル・カンジド・ホンドン市（パラグアイとの国境近くに所在）におけるパラナ州軍警察国境警備大隊の新規配備に伴い、第一陣となる軍警察官50名が派遣された。今後、更に軍警察官30名を増員し、25日からアルゼンチン及びパラグアイと隣接するパラナ州国境付近における麻薬及び銃器の密売撲滅活動を開始する。

2 軍警察によると、同大隊は私服警察官、覆面パトカー及び森林地帯を走行可能な警察車両等で構成されており、連邦警察、パラナ州検察庁及び対組織犯罪特別活動部隊（GAECO）等と連携の上、捜査を行う。

3 また、9月までにパラグアイとの国境に所在するグアイラ市及びサント・アントニオ・ド・スドエステ市においても同国境警備大隊を配備する。

●感染症関連情報（パラナ州及びサンタ・カタリーナ州におけるA型インフルエンザ（H1N1）感染状況）

1. パラナ州保健局は、7月9日時点におけるA型インフルエンザ（H1N1）感染確認者数及び同死亡者数につき公表したところ、概要次のとおりお知らせします。

なお、感染者数は前回調査（7月2日）に比し、55%増となった（死者数変更なし）。

合計感染者数：588人（死者14人）

最も患者数が多い年齢層：20～49歳（240人、死者9人）

合計都市数：110市

クリチバ：112人（死者3人）

ポント・グロッサ：48人（同1人）

パト・ブランコ：46人

フォス・ド・イグアス：44人

カンポ・モウロン：20人

サン・ジョゼ・ドス・ピンニャイス：18人（同3人）

ジャグアリアイヴァ：16人

カンポ・ラルゴ：15人

フランシスコ・ベルトロン：13人

チバジ：11人（同1人）

コルネリオ・プロコピオ：9人（同1人）

カスカヴェル：9人

ロンドリナ：7人

マリンガ：6人

カピトン・レオニダス・マルケス：6人（同1人）

サン・マテウス・ド・スール：4人（同1人）

シケイラ・カンポス：3人（同1人）

アストルガ：2人（同1人）

アプカラナ：2人（同1人）

2. サンタ・カタリーナ州保健局は、7月10日時点におけるA型インフルエンザ（H1N1）感染確認者数及び同死亡者数につき公表したところ、概要次の通りお知らせ

致します。

なお、感染者数は前回調査（6月26日）に比し、32%増となり、死者は、14名増。

合計感染患者：635人（死者52人）

ブルメナウ：56人（死者9人）

ヴィデイラ：47人（同3人）

フライブルゴ：26人

クリシウマ：26人（同2人）

イタジャイ：21人（同1人）

サン・ジョゼ：21人

トウバロン：20人（同3人）

ラージェス：19人（同1人）

フロリアノポリス：18人（同1人）

ブルスケ：16人（同1人）

ジョインヴィレ：16人（同1人）

チンボー：14人